

第8回仙台市新型コロナウイルス感染症対策会議 議事概要

日 時：令和3年1月9日(土)19時00分～19時35分

場 所：仙台市役所本庁舎3階 秘書課第一応接室

出席者：郡市長（議長）、藤本副市長、高橋副市長、危機管理監、総務局長、新型コロナウイルス感染症対策調整担当局長、まちづくり政策局長、財政局長、市民局長、健康福祉局長、子供未来局長、環境局長、経済局長、文化観光局長、都市整備局長、建設局長、青葉区長、宮城野区長、若林区長、太白区長、泉区長、会計管理者、消防局長、教育長、議会事務局長、水道事業管理者、交通事業管理者、ガス事業管理者、病院事業管理者
仙台市医師会 永井顧問、宮城県保健福祉部 梶村次長

次 第：1. 開 会

2. 議 事

(1)本市の感染状況について

(2)緊急事態宣言について

(3)宮城県の対応について

(4)本市の対応について

3. 閉 会

議事要旨：

(1)本市の感染状況について

- ・政府が1月7日に東京都などの1都3県を対象区域として緊急事態宣言を発出した。これを受け、本市の体制を新型インフルエンザ等対策行動計画に基づく危機対策本部から、特措法に基づく対策本部へと移行する。
- ・資料1について健康福祉局長より説明

(2)緊急事態宣言について

- ・資料2について危機管理監より説明

(3)宮城県の対応について

- ・資料3について新型コロナウイルス感染症対策調整担当局長より説明

(4)本市の対応について

- ・資料4について危機管理監より説明

○関係局長より報告

<経済局長>

- ・現在の時短要請に協力している事業者には、1施設あたり60万円を支給する。来週早々に申請受付を開始するため、迅速に支給できるよう準備を進めている。
- ・1月27日までの再度の時短要請に協力する事業者についても同額を支給する。現在の時短要請に協力していない事業者についても、今回の要請に協力する場合には協力金を支給することから、事業者に向けて広く周知するため、時短要請対象エリアの全飲食店に向けて協力を依頼する文章を送付する。

<文化観光局長>

- ・本市独自の宿泊促進キャンペーン「Travel 仙台選べるトク旅キャンペーン」について、GoToトラベルの停止に併せ本キャンペーンも停止しているが、今回GoToトラベルの停止延長を踏まえ、トク旅キャンペーンについても2月7日まで停止を延長する。
- ・予約キャンセル時に補助金相当額を施設側へ支援金として支給する対応についても、停止延

長に併せて期間を延長する。

- ・企業内会議・研修会開催助成及び東北周遊促進事業についても同期間停止とする。

○市長より指示

- ・三密の回避、マスクの着用、定期的な換気と適度な加湿などの基本的な感染予防対策の徹底、1都3県との不要不急の往来の自粛について市民へ周知すること。
- ・営業時間短縮期間が延長となったことから、改めて要請内容を丁寧に周知するとともに、協力金の円滑な支給に向けて準備を進めること。

○仙台市医師会 永井顧問より

- ・東京都の新規陽性者が連日 2,000 人を超えており、想定を超える状況である。仙台市においても市中感染が広まり、感染者数がさらに増加するのではないかと危惧している。
- ・感染者の増加に伴い入院病床がひっ迫し、宿泊療養者や自宅療養者、調整中の方が増加する恐れがある。中には病状が急変するケースがあるため、酸素飽和度を計測するパルスオキシメーターを増やし対応いただきたい。

○宮城県保健福祉部 梶村次長より

- ・県の調整本部における入院調整が非常に困難になってきている。特に重症者の入院調整が日々綱渡りの状態であるため、引き続き仙台市と協力のうえ、最大限の危機感をもって感染防止対策を進めてまいりたい。

○市長より総括

- ・国が1都3県を対象に緊急事態宣言を発令し、新たな局面を迎え、本市においても感染拡大をくい止める重要な時期となる。
- ・地域経済も厳しい状況のため、感染拡大防止と社会経済活動との両立を持続的なものとするため、必要な対策を起動的に実施しなければならない。
- ・市民、事業者の皆様とともに、本市の力を集結し、各般の取組を全力で進めてまいらる。

以上